

令和 6 年 4 月 3 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

わずか 1 種の野生種をもとに作出された多様な園芸品種 ～コレクション特別公開「さくらそう品種展」のご案内～

国立科学博物館筑波実験植物園（園長：細矢 剛）は、来る 4 月 13 日（土）から 4 月 21 日（日）まで、コレクション特別公開「さくらそう品種展」を開催いたします。

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。

その **わずか 1 種の野生種** をもとに、江戸時代から現代までに **多様な園芸品種** が作出されてきました。

今年も本特別公開では、筑波大学が保有するコレクションの中から、国内屈指のさくらそう品種コレクション 100 品種以上を江戸時代から続く伝統園芸の雰囲気の中で展示し、作出の歴史を科学的な知見とともに紹介します。

江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をぜひご覧ください。



サクラソウの自生地の様子

つきましては、展示のオープンに先立ち、4 月 12 日（金）午後 2 時 30 分～3 時 30 分の間プレス内覧会を筑波実験植物園（茨城県つくば市）にて実施いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

報道内覧会への参加をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報のうえ、午後 2 時 15 分に筑波地区研究管理棟 1 階 玄関ホールにお越しください。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉祐一 中山瑠衣

担当研究員：田中 法生（植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

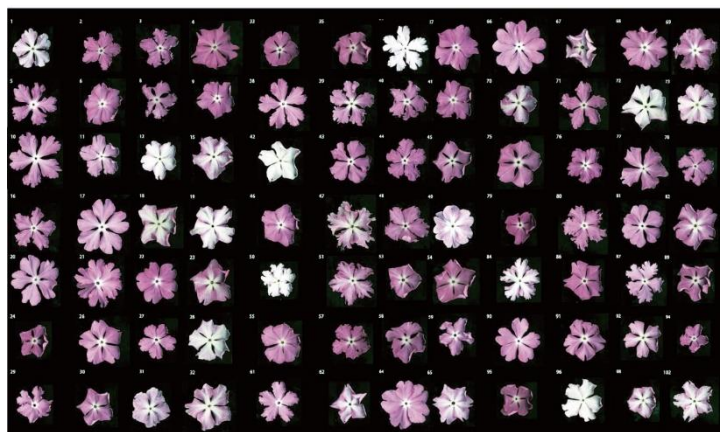
<https://tbg.kahaku.go.jp/>

コレクション特別公開「さくらそう品種展」実施要項

1. 目的 日本野生サクラソウを遺伝資源として育成されてきた伝統園芸のさくらそう品種を公開し、その一部を江戸時代から続く鑑賞方法で展示し、伝統園芸の奥深さを紹介します。
2. 名称 コレクション特別公開「さくらそう品種展」
3. 主催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園
筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
4. 協力 筑波大学さくらそう里親の会、NPOつくばアーバンガーデニング
5. 会期 令和6年4月13日(土)～令和6年4月21日(日)計8日間
(4月15日(月)休園)
6. 場所 国立科学博物館筑波実験植物園教育棟及びその周辺
7. 展示構成
 - (1) 教育棟
 - ① サクラソウとは
さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立についてパネル紹介
 - ② 芽分け作業の様子をスライドショーで紹介
 - ③ 里親制度の紹介(各自宅での栽培の様子を紹介)
 - (2) 教育棟周辺(日本庭園周辺)
 - ① 桜草花壇
江戸時代に築かれた手法で展示(筑波実験植物園所有花壇を使用)
 - ② さくらそう展示台6台
常時100品種以上を展示



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」



園芸品種の交配から生じる多様な色・形

